

平成22年12月27日(月)
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所
川崎市 建設緑政局 計画部 広域道路課

記者発表資料



国道409号「東門前駅前交差点」の渋滞
が大幅に減少しました。
(右折車線設置の整備効果のお知らせ)

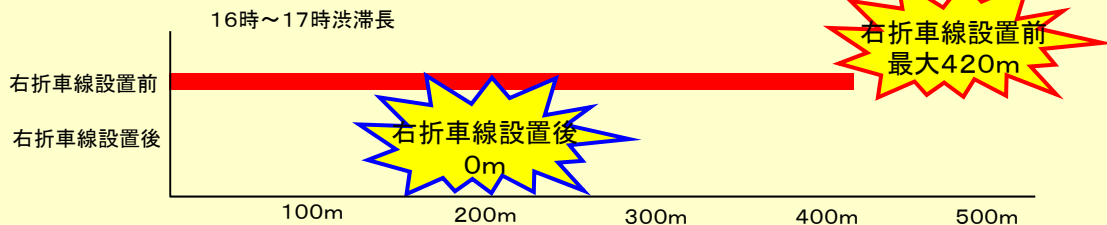
川崎国道事務所では、川崎縦貫道路の一般部である国道409号の整備を進めているところです。

東門前駅前交差点で発生している渋滞を緩和するための措置として、平成22年10月14日に右折車線を設置しました。

この右折車線の設置にともなう交通状況の変化について、お知らせします。

①右折車線設置後、国道409号の渋滞長が大幅に減少しました。

・409号上り線の休日の渋滞長が、右折車線設置前は最大420m(16時～17時)でしたが、右折車線設置後、同じ時間帯での渋滞長は0mとなり、その他の時間帯においても最大50mとなりました。



② 設置した右折車線を利用している交通量は休日において時間あたり最大224台です。

・右折車線の時間あたりの最大利用交通量は上り線(川崎駅方面)で224台、下り線(浮島方面)で53台です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／横浜海事記者クラブ
／神奈川県政記者クラブ／川崎記者クラブ

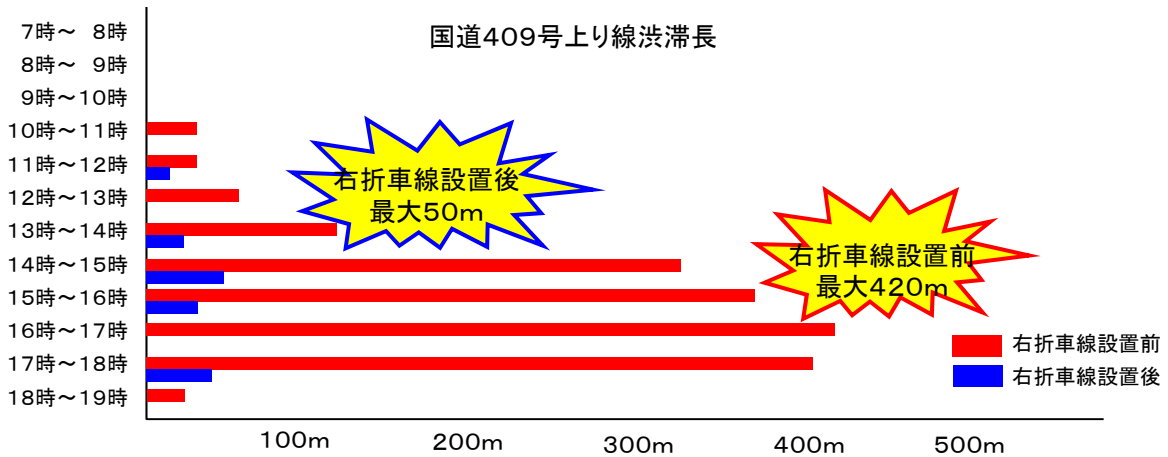
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所
〒213-8577 川崎市高津区梶ヶ谷2-3-3 電話044(888)6411
地域広報官 佐藤 幸基 (さとう こうき) (内205)
計画課長 伏見 利行 (ふしみ としゆき) (内261)

① 東門前駅前交差点の右折車線設置により国道409号上り線(川崎駅方面)の渋滞長が大幅に減少しました。

	右折車線設置前	→	右折車線設置後
国道409号(川崎駅方面) (7時から19時)	420m		50m

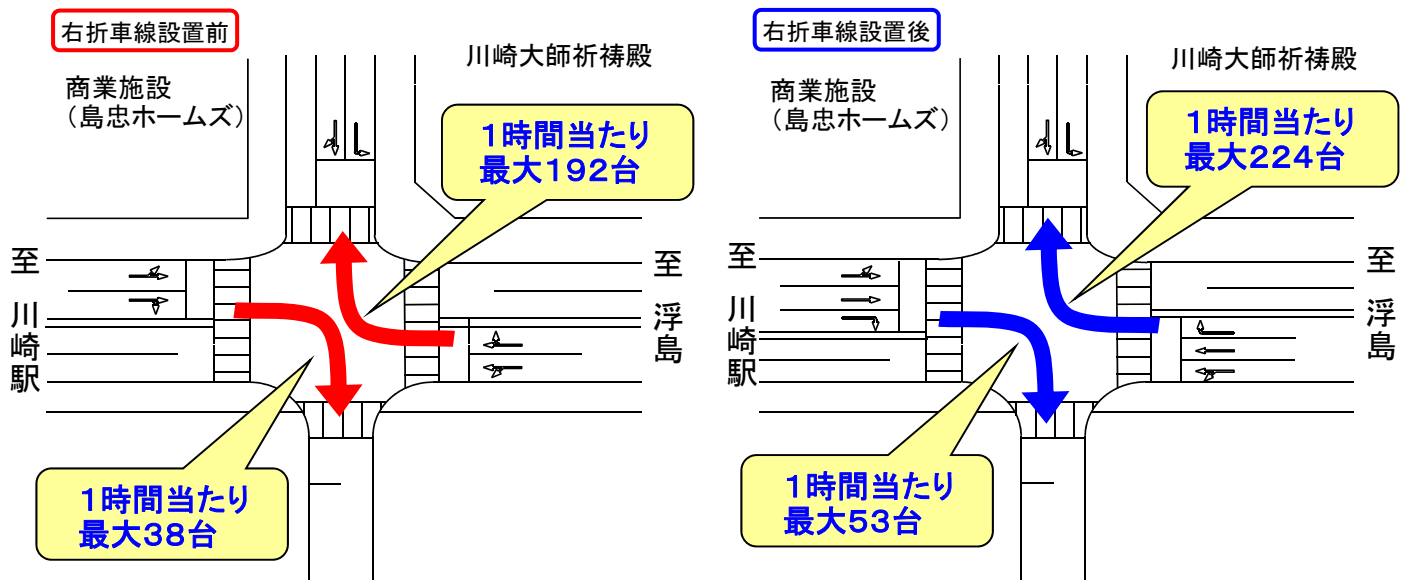
渋滞長の変化



② 設置した右折車線を利用している交通量は、休日において1時間あたり最大224台です。

	上り線(川崎駅方面)	下り線(浮島方面)
右折車線1時間あたり 最大利用台数	224台	53台

右折車線利用状況



右折車線設置前



右折車線設置後



設置した右折車線



右折車線設置後の通行状況



交通量調査日	
右折車線設置前	平成22年10月3日(日)
右折車線設置後	平成22年11月28日(日)

川崎国道事務所では、川崎縦貫道路の一般部である国道409号の整備を進めているところです。

しかし、東門前駅前交差点では、現在右折車線が無いことから、周辺のマンション開発及び大規模商業施設の立地に伴う交通需要の増大により渋滞が発生しており、地元よりその対策を強く要望されていました。

さらに、本年10月には、本交差点に近接して、首都高速神奈川6号川崎線（殿町～大師ジャンクション）が開通し、東京国際空港（羽田空港）では、新たなD滑走路及び新国際線地区の供用開始が予定されていました。

これらのことから、暫定的な措置として、現在の車道内において車線幅員を変更することにより、右折車線を設ける対策を講じることとしました。

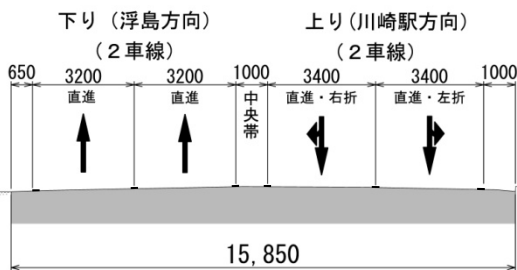
この右折車線の設置により、右折車輛による直進車輛の阻害が原因で発生している渋滞の緩和が期待されます。

箇所図



右折車線設置計画

右折車線設置前



右折車線設置後



川崎縦貫道路事業について(参考)

川崎縦貫道路は、細長い川崎市を縦貫する幹線道路で、高速川崎縦貫線と国道409号から構成されています。川崎浮島ジャンクション～国道15号間約8.4kmをI期区間として、一般部を川崎国道事務所が、自動車専用部を首都高速道路株式会社が整備を行っています。

この道路の整備によって、他の幹線道路と一体となり広域的な結びつきを可能にし、川崎市の拠点開発等を支援するとともに、交通混雑の緩和、沿道環境の改善等を図ります。

